



新しいお家で楽しく読み聞かせ。家庭的な雰囲気ガスキンシップを生みだします

愛情に包まれて育つ環境を

5月5日〜11日は「児童福祉週間」

5月5日から11日は、こどもの健やかな成長について考える「児童福祉週間」です。厚生労働省や全国社会福祉協議会などの主催で設置されたもので、毎年各地でさまざまなイベントが実施されます。日本赤十字社も協力団体として参加します。今年の標語は「地球はね 笑顔がつまった 星なんだ」。運動の柱は「家庭における親子のふれあい促進」や「児童虐待への適切な対応」など8項目です。この趣旨は、近年導入が進んでいる「小規模グループケア」の取り組みにもつながっています。

小規模グループケアを開始 茨城県支部乳児院

日本赤十字社茨城県支部乳児院は、こどもが少人数で生活する「小規模グループケア」の専用施設を新たに建て、4月から運営を始めました。日赤では東京・広尾の医療センター

ターなど3カ所の乳児院が小規模グループケアを導入していますが、専用施設での実施は初めてです。乳児院では、大きな施設で集団生活をする形式が一般的です。これに対し、小規模グループケアは、少人数のこと

家庭的な雰囲気を大切に

茨城県支部乳児院の専用施設は、平屋造りで延べ床面積約49・70平方メートル。4人の乳幼児が生活しています。従来の施設と異なる点は、少人数のため、家庭的な雰囲気が生まれるようになったことです。例えば食事は普通の家庭のよう

に、こどもたちの目の前で盛り付けられます。お風呂もユニットバスに変わり、家族同様のスキンシップが図れます。職員任せだった洗濯もこ

もと保育士ら職員が、一般家庭に近い環境で一日を過ごします。

小規模グループケアは集団生活と比べて、職員がこども一人に向き合う時間を増やすことができます。それは職員がこどもの個性や成長の過程をしっかりと受け止め、きめ細かい対応や保育に努めることを可能にします。その結果、こどもの心身の健やかな成長を促すことが期待できます。



こどもたちと一緒に家の名前を考えています

専門施設で24時間保育を実現したいと張り切っています。な経験を積み上げてあげること。今後は、買い物や料理、菜園を考えています。

Our world. Your move.

赤十字150年



個人の尊重と赤十字運動 (1)

元IFRC財政委員 野々山 忠致

赤十字の基本は「憐れみの情」?

最近よく話題になる新渡戸稲造の著書『武士道』には赤十字の話が出てきます。第五章「仁・惻隱の心」に、キリスト教的と考えられた赤十字運動が、かくもたやすく日本人の間に堅き地歩を固めた理由は、「窮鳥懐に入る時は、獵人もこれを殺さず」と言う古い格言

如く、敵に対しても「憐れみの情」をかける教えがあったからだとしています。また、自分はジュネーブ条約(万国赤十字条約)を耳にするより数十年前に小説「家馬琴の筆による敵の傷者に医療を加える物語に親しんだ」とあります。

人間の尊重を確保することにある」とし、さらに、赤十字がNGOや国連と協力して2000年に作成した「人道憲章(スフィア・プロジェクト)」は、戦争や災害の被災者には「尊厳ある生活を営む権利」があるとして、赤十字、そして現代の人道支援が、被災者を個人として尊重し、被災者の人権を尊重することを基本とする活動であることを明らかにしています。

旧日本赤十字社救護看護婦等に対する書状贈呈事業についてのお知らせ

先の大戦において戦地等に派遣され、戦時衛生勤務に服された旧日本赤十字社救護看護婦及び旧陸海軍従軍看護婦の方々のうち慰労給付金受給対象とならない方に対して、そのご苦勞に報いるため内閣総理大臣名の書状を贈呈しています。

書状の贈呈は、請求に基づいて行っています。請求される方は、総務省大臣官房総務課管理室へ直接請求書類を送付してください。請求書の用紙は、同管理室のほか、各都道府県および日本赤十字社

1. 請求することができる方
外地における勤務経験を有し、加算年を含めた勤務期間が12年未満の旧日本赤十字社救護看護婦および旧陸海軍従軍看護婦であった方。

2. 請求期限
平成23年3月31日まで

3. 請求書類の送付先及び問合せ先
〒100-8926
東京都千代田区霞が関2-1-1
総務省大臣官房総務課管理室
業務担当
電話 03-5253-5182(直通)
FAX 03-5253-5190

災害時の離散家族再会支援

ハイチ大地震でも成果



ハイチ赤十字社のボランティアが、探している家族の情報聞いて回る。 ©ICRC/M. Kok ik



ベアトリス・ムニエルさん

「日本のようにインフラがしっかりした国でも、大災害の際には家族の無事を確かめるのが困難になる可能性があります」

こう語るのは赤十字国際委員会(ICRC)のベアトリス・ムニエルさん。アジア地域の紛争や災害時の離散家族支援(RFL: Reaching Families in Times)の中心を担っています。このほど来日し、「世界的なネットワークを持つ赤十字は、離散した家族同士の連絡を維持・回復するために、例えば、移住外国人などの安否確認に大きな役割を果たさなければなりません」と訴えました。

従来RFLが必要とされるのは紛争や内戦時が中心でした。しかし、頻発する大規模な自然災害時にも対応できるよう、ICRCは2008年からRFLの強化策をスタート。昨年はヨーロッパ、アジア、アフリカ英語圏の3地域にRFL専門要員を配置し、発災時にはすぐに現地へ派遣できる体制を整えました。

今年1月のハイチ大地震では、専門要員5人を即座に派遣。ハイチ赤十字社とともに、短時間で安否調査専用サイトを立ち上げ、被災者の情報登録を行ったほか、応急的に使用できる衛星電話回線を設置しました。

「2万9000人以上がサイトに登録し、約6500人がここを通じて自分の無事を

家族に知らせました。設置した衛星電話も多くの方の安否確認に役立ちました」とムニエルさん。「災害時には、保護者とはぐれることも私たち家族との再会を果たしました」と活動の成果を語ります。

国民保護法などに基づき、日本は有事や災害時の外国人安否調査の任を負っています。しかし、またそれが十分に認知されているとは言えないのが現実。「在日外国人を支援するNGOなどを通じて、彼らにRFLを周知するのにも一つの方法。まずは、災害時に安否調査に関するどんなニーズが発生するのかわら握してほしい」と指摘します。

災害多発国である日本のRFL体制を強化することはとても重要であり、ムニエルさんは日本の今後の取り組みに大きな期待を寄せています。

途上国の赤十字3事業に 971万円を支援

交通安全や若者の支援などに

日本最古の国際協力基金 昭憲皇太后基金

開発途上国の赤十字事業を支える「昭憲皇太后基金」について、今年の対象事業とその配分額が決まりました。

昭憲皇太后は明治天皇の皇后で、明治45年(1912年)に国際赤十字に対して多額の寄付をされました。基金はこの寄付を基に創設されたものです。

基金は大正10年(1921年)から赤十字事業の支援を目的に利子配分を始め、配分は今年で89回目となりました。ジュネーブに本部を持つ

赤十字国際委員会と国際赤十字・赤新月社連盟がつくる合同委員会により基金は運営され、日本赤十字社は今年度500万円を拠出する予定です。

基金が対象としている支援事業は主に災害対策、保健衛生、血液、青少年赤十字活動です。今回はケルジアのこと

もの交通事故を防ぐ取り組みや、シエラレオネの若者に社会参加を促す試みなど、3カ国の赤十字社の事業が選ばれました。配分額は11万1665スイスフラン(日本円で約971万円)で、第1回からの総額は1222万8591スイスフラン(約10億6000万円)に達しています。

今回の配分先と対象事業

- 1 グルジア赤十字社 ヨーロッパ
交通安全の向上～学校までの安全な道のりの確保(約148万円)
- 2 シエラレオネ赤十字社 アフリカ
青年プラスバンド隊の支援(約426万円)
- 3 ツバル赤十字社 大洋州
地域保健衛生・救急法の普及(約397万円)

常任理事会開催報告

平成22年4月26日、本社において平成22年度第1回の常任理事会が開催されました。審議結果は左記のとおりです。

入

審議の結果、原案のとおり議決されました。

また、中国青海省地震に対する日本赤十字社の対応について、献血推進の取り組みについて、予算の補正にかかる3月分の社長専決事項の決定状況について、それぞれ報告しました。

付議事項

資金の借入について
(沖縄赤十字病院の医療機器追加整備にかかる資金の借

◆もっとクロス! 国際版

ひと月余り前、日赤神奈川県支部の新社屋落成式に参列した折り、とても興味深い話を聞きました。この式典にはミクロネシア連邦駐日大使ご夫妻も出席してくださったのですが、それには、こんなわけがあったのです。

およそ25年前、神奈川県内の大学に留学していたジョン・フリッツ青年は、知人の勧めで日赤支部主催の講習会に参加、水上安全法救助員と救急法救急員の資格を取得します。同じ大学の学生だった後の大使夫人・百恵さんも、救急法救急員の資格をとり、これが、お二人と赤十字との縁の始まりになりました。

卒業の時期を迎えたフリッツさんは、当時アメリカ統治から独立したばかりの故国に赤十字社を設立したいという夢を友人に語りながら帰国します。しかしそれは、そう簡単には進みませんでした。

数年後、駐日大使館の書記官として再来日したフリッツさんは、知人たちに協力を要

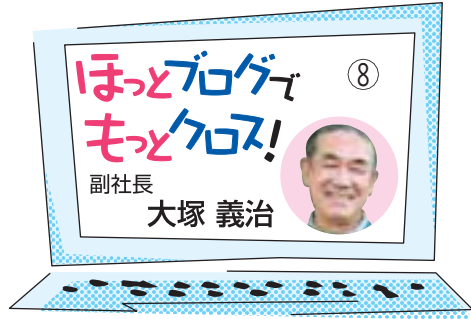
請、これに応じて神奈川県支部が動き出しました。調査団が結成され、ミクロネシアを訪れて大統領や政府機関、地域住民などに会い、支援を求める活動を展開したのです。

赤十字社設立に向けた動きが加速し始めます。翌年、同連邦はジュネーブ条約等を批准し、他方、同社設立準備委員会は4州に支部を設置して防災事業やボランティア育成を開始しました。この間、神奈川県支部の様々な支援活動も続けられていきます。

そして2003年(平成13年)、フリッツ青年の夢がとうとう実り、正式にミクロネシア赤十字社が承認される日がやってきました……。

最初は、ほんの小さなきっかけに過ぎなかったもの。それが、次第に人と人との絆を広げていき、大きな輪、力強い波動になっていく。これこそ「もっとクロス! 国際版」ではなかろうか、そう思い、とても心を動かされました。

この項へのご意見を歓迎します。メールアドレスは、otsukablog@jrc.or.jpです。



▼プロフィール
昭和22年生まれ、栃木県出身。元厚生労働事務次官。
平成17年から日本赤十字社副社長。
趣味は読書で、自身の読書遍歴をまとめた「遊歩入夢 文庫の香り」(弓立社)の著書がある。



2008年に配分された基金で、フリッツ赤十字社は救急車を購入



中国 ミャンマー

アジアを襲った巨大災害から2年 復興支援に全力投球継続中!



中国大地震 取り残された被災者を救え 少数民族にも目配り

「被災地は、テレビ報道などで誰も知っているところだけではありません。支援が届かずに本当に困っている人々を探し出すことも私の仕事です」
こう語るのは、日本赤十字社の位坂和隆駐在員。中国大地震の復興支援のため被災地で活動中だ。

崩れた山に村が飲み込まれ、学校や病院をはじめ数えきれない建物や倒壊するなど死者・行方不明者8万7000人以上の被害をもたらした中国大地震(2008年5月12日)はその被災範囲も広大。復興事業は中国と中国紅十字会(中国の赤十字社)がその多くを担っていますが、すべての被災地には支援が届き届かないのが現状だ。

日本赤十字社の国際救援課の杉山悦子さんは、「被災地の多くは山間部で経済的に貧しい地域。しかも、被害が比較的軽かった場所には政府の支援もなかなか行き渡らないので、そうした地域では学校や病院の再建が困難でした。私たちはそうした被災地にも目を向けるよう心がけました」と日赤の支援プロジェクトの考え方を説明します。

位坂さんが訪問した少数民族が住む辺境の村では、震災後1年半が経った昨年末の時点でも、子どもたちはテントの校舎で勉強をしていますが、時間が経っても、まだ支援が届いていない被災地の環境は厳しいです」と位坂さんは振り返ります。

「安いアパートに住んで、普段は自転車移動。食事は普通の食堂です。現地の方と同じ生活を送ることが信頼を得る秘訣です」と位坂さんは支援を円滑に進める隠れた

努力を語ります。中国はかつて日本軍が侵略し、被害の記憶が残る国。日中友好を意識しながらの活動が大切」といいます。

「日本といえばアニメのキャラクターと戦争のイメージ。被災地のほとんどの人は日本人と会うのが初めてです。日赤代表として行けていく日本人の代表として、いつか温かく迎えてもらっています」と笑います。



赤十字の住宅再建支援金の入金を確認するために並ぶ被災者と位坂駐在員



2010年3月に完成した小学校。完成までの間、児童たちは仮設プレハブ教室で勉強していた(四川省綿陽市游仙区)

ミャンマー! 大型サイクロン 村の期待背負った学校再建 村人との共同作業で

「まるでパレス(王宮)のよう」の学校は私たちの宝物だ――日赤が、ミャンマー赤十字社を支援して1年前から進めてきた学校再建事業。いま新校舎が次々に完成し、被災地の村人から大きな期待が寄せられています。

2008年5月2日から3日にかけてミャンマーを襲った大型サイクロン・ナルギス。首都のヤンゴン管区、エヤワディ管区を中心に死者行方不明者13万人という被害をもたらした。学校や病院など多くの施設も破壊されました。

日赤の駐在員、天田裕子さんは、被災地では7000の学校が被害を受け、ミャンマーが国として自力再建するのは不可能なレベルだと話します。

倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。

ミャンマー赤十字社の要請により、日赤は昨年春からエヤワディ管区内60校の再建事業をスタート。3月末までに15校が完成しました。



エヤワディ管区で再建された小学校



エヤワディ管区の臨時校舎で授業を受ける子どもたち



エヤワディ管区ラバト県ボゴン村の子どもたちと天田駐在員

「倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。」

日赤の支援で再建した学校は、鉄筋コンクリート製の高床式。通常レベルのサイクロンに耐える防災強化型です。鉄筋コンクリートの建物は学校だけでなく、災害時に避難場所にも使えます。

「災害時の避難場所にも使えます。日赤の支援で再建した学校は、鉄筋コンクリート製の高床式。通常レベルのサイクロンに耐える防災強化型です。」

「倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。」

「倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。」

「倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。」

「倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。」

「倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。」

「倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。」

「倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。」

「倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。」

「倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。」

「倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。」

「倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。」

「倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。」

「倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。」

「倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。」

「倒壊した学校の中には、建物の基礎部分を除いて根ざさずサイクロンで倒壊したもので、行かれたものも、年々雨の間に倒壊する危険な状態に陥っています。」

IFRC支援事業もサポート

ミャンマー・サイクロン復興支援予算	
緊急救援	4億8800万円
シェルター	1億9500万円
保健衛生	8360万円
学校再建	3億5670万円
防災対策	5320万円
生計支援	1億5450万円
現在協議中の事業	4000万円
その他 事務経費など	5800万円
合計	14億2900万円

(平成22年3月末現在)

IFRCでは、エヤワディ管区、ヤンゴン管区の10万世帯を対象に生計支援、シェルター、保健衛生、防災対策などの復興支援を2011年まで実施中です。日本赤十字社は4億8630万円の資金提供を行うとともに、IFRCのスタッフにも要員を送り事業をサポートしています。

- ◆シェルター…住居や住民の避難所となる公共施設の建設
- ◆保健衛生…貯水槽設置、トイレの建設などによる衛生状態の改善。予防接種活動、蚊帳の配付と適正指導
- ◆学校再建…日赤が2年間事業として行う60校の学校再建支援とは別に、IFRCは24校の再建を支援
- ◆防災対策…全国20カ所の倉庫に毛布、衛生セット、ビニールシートなどの救援物資を備蓄、ほか
- ◆生計支援…村の農道や橋など修復を通じた収入機会の提供、農漁業民への肥料や資機材の配付など
- ◆人材育成…衛生教育、救急法講習などを中心とした赤十字ボランティアの育成。ボランティアが集う赤十字ポスト(集会所)の設置

今度は中国青海省で大地震

死者・行方不明者2000人超

4月14日、中国西南部の青海省チベット族自治州を襲ったマグニチュード7.1の大地震。死者・行方不明者2200人以上、負傷者1万人以上の被害が発生しました。

被災地は標高3千数百メートルの山岳地帯。被害は局所的ではあるものの、震源地の近くでは、家屋の9割以上が倒壊し、電気、水道、通信も遮断されるなか、中国紅十字会は中国政府とともに救援活動にあっています。

日赤は、被災者救援のため1000万円を当面の救援資金として中国紅十字会に提供することを決定。救援活動支援のため、皆さまからの救援金も受け付けています。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.jrc.or.jp/>

続々と完成する学校・病院。住宅再建にも支援

中国大地震復興支援予算	
緊急救援	8億8900万円
住宅再建支援	18億6700万円
学校再建	10億6100万円
医療施設再建	7億4900万円
復興支援事業	3億1000万円
越冬支援	4400万円
災害対策物資備蓄	4100万円
医療資機材支援	8000万円
現在協議中の事業	1億3400万円
その他 要員派遣費、事業管理費など	51億7500万円
合計	51億7500万円

(平成22年3月末現在)

中国大地震の救援・復興支援のために日赤へ寄せられた救援金は世界の赤十字社の中でも際立って多い1億円を超えています。発生直後の緊急救援などに充てられた約9億円を除いた41億円余りが復興支援事業に使われています。

住宅再建では、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)を通じて、四川省綿陽市の1万6577世帯に再建資金の一部を支援。医療施設は3省で39の病院、54のクリニックを再建。学校は、3省で26の学校の校舎や宿舍の建設を日赤が担い、続々と完成しつつあります。すでに完成した学校では、新校舎での授業もスタート。残りの学校や病院についても、今年度中の完成を目標に事業が進められています。

また、再建した病院に対する医療資機材の提供なども予定しています。

プロ野球選手から心のプレゼント

日ハム稲葉選手 ドクヘリを援護

北海道

ドクターヘリを導入している旭川赤十字病院に4月9日、北海道日本ハムファイターズの主砲・稲葉篤紀選手からベディスリーブ（小児用全



ベディスリーブは、事故でせき髄を損傷した子どもを運ぶときなどに使います。同病院のドクターヘリにはこれまで成人用のみが配備され、子どもを乗せる際に苦勞していました。ヘリにはプロジェクタのロゴマークも張られました。稲葉選手

独立リーグ選手 赤十字に貢献

新潟

新潟県支部は、プロ野球独立リーグの新潟アルビレックス・ベースボール・クラブと協力し、地域貢献活動を展開しています。



入院患者を勇気付けた選手たち

3月14日には、チームの選手がAED（自動体外式除細動器）の使い方講習を受けました。選手はここで学んだことを生かし、試合会場などでAEDのデモンストレーション

「この命を救いたい」との思いを乗せ、ヘリは活躍しています。

2010年まで最新!

事務所を センターに移転

高知

高知県支部は3月23日、高知市が新設した「総合あんしんセンター」（同市丸の内）の1階に事務所を移し、業務を開始しました。



災害時の連携を視野に

た。免震構造を備えており、万が一、南海大地震が発生した場合、県支部は各機関と密接な連携を図ることを視野に入れています。

大森赤十字病院 改築完了

東京

大森赤十字病院（大田区中央）は約2年間にわたる全面的な改築工事をこのほど終了し、5月7日から新病棟で診察を始めます。

新病棟には、救急患者に対応するICUが新設され、人工透析が可能な病床も9床か



また、県支部には4月から国内型緊急対応ユニット（d E R U）が配備されました。中国・四国地方では3台目の配備となります。

ら15床を増えました。がんのほか、糖尿病などの生活習慣病の治療も充実させる一方で、産科・小児科を含めた従来の診療体制も維持しています。

赤十字の現場から



今年2月末の土曜日の昼、大阪・梅田の献血会場



「通行人が倒れた」と声がかかりました。急いで駆けつけると、50〜60歳代くらいの男性が採血車の側に設

けたテントに寄りかかるようにして倒れています。同じく採血の準備をしていた吉矢久人医師とともに

「AED」と「チームワーク」で助けた命

大阪府赤十字血液センター
採血課看護師
松浦 澄代さん

「AED」と「チームワーク」で助けた命。私は病院で応急手当の経験がありますが、外では初めて。周りには人だかりもあって戸惑いましたが、待たなしの事態です。AEDで男性に電気ショックをかけた瞬間、心臓が正常に動き出したと判断。心臓マッサージをしながら、同僚の看護師に採血車を備え付けられているAED（自動体外式除細動器）を運ばせました。私は病院で応急手当の経験が豊富で、心臓マッサージをしながら、同僚の看護師に採血車を備え付けられているAED（自動体外式除細動器）を運ばせました。私は病院で応急手当の経験が豊富で、心臓マッサージをしながら、同僚の看護師に採血車を備え付けられているAED（自動体外式除細動器）を運ばせました。

防炎ボランティア 「こころのケア」学ぶ

宮城

宮城県支部は3月5日、赤十字防炎ボランティア向けの研修会を開き、22人の奉仕団員が参加しました。

また、同21日には菅沢真矢監督と選手2人が長岡赤十字病院を訪問し、入院患者を激励。菅沢監督は「これからもプレーを通して、皆さんに勇気を与えていきたい」と話しました。

県支部の 新社屋が落成

神奈川

神奈川県支部の新社屋が完成し、3月27日に落成式が行われました。

新社屋は県の災害救護の拠点となるほか、赤十字ボランティアの活動の場としても活用されます。また、建物2階には赤十字の情報を発信する「かながわ赤十字情報プラザ」も設置。県民が赤十字への理



神奈川からも赤十字の情報を発信

赤十字の 駅が誕生

福井

福井鉄道福武線の福井新駅（福井市みのり二丁目）が3月25日、「赤十字前」に名称変更されました。

この駅は、福井県支部や福井赤十字病院、血液センターの最寄りに位置します。県支部は鉄道会社に駅名変更の要望を続けていました。この日



救急活動をロールプレイで学ぶ

AED部隊が ランナーを守る

佐賀

佐賀県支部と救急法奉仕団は4月4日、佐賀市の県総合グラウンド周辺で開催された「2010さが桜マラソン」でAED部隊を組織し、参加



駅案内板も刷新



大会を支えたAED部隊

ランナーの心肺停止など不測の事態に備えました。赤十字による大会サポートは毎年行われていて、昨年の大会では県支部の救急班が心肺停止に陥ったランナーをAEDで救助しています。約8000人が参加した今大会では、県支部の救急車のほか、4人の奉仕団員がAEDを背負いながら自転車コースを巡回しました。5力所の給水所にも奉仕団員とAEDを配置。気分が悪くなったランナーの救護に当たり、大会関係者から感謝が寄せられました。



足利赤十字病院
ラリン・エバー・
ガメッド看護師

「苦しいときもありました。病院が用意してくれた小テストの点数が悪いと、無理だと思いました」

努力でつかんだ夢の合格

そんな彼女を支えたのは、指導を買って出た滝永哲医師でした。医師は「大丈夫」と励ましつつ、勉強に根を詰めすぎたときにタイミングよく休憩を与えてくれました。

経済連携協定(EPA)に基づいてフィリピンから来日している看護師の候補者として、初めて国家試験に合格。4月から正看護師として採用され、救命救急病棟に勤めています。

それでも「試験を一回でパスする」と決意。昨年10月末から病院で働き始め、今年2月の試験で合格率1%の狭き門を突破しました。この合格は、本人の努力と猛勉強を支えた病院の存在があったからこそです。



もしり込みするほど難しい漢字で書かれた専門用語と格闘する日々でした。フィリピンに残した家族のため、あきらめることはできませんでした。用語の意味を周りの職員に聞き、電子辞書で確かめながら一つ一つ覚えていきま



応急手当にチャレンジ
子どもたちは、日赤豊田看護大学の青年奉仕団員たちから、三角巾による手当や無線機の使い方を習った後、小学生向けの職業体験イベントに出展し、救護活動の体験企画「赤十字救援隊になろう」

愛知県支部は3月27日、豊橋市こども未来館で行われた小学生向けの職業体験イベントに出展し、救護活動の体験企画「赤十字救援隊になろう」を実施しました。

子どもたちは、日赤豊田看護大学の青年奉仕団員たちから、三角巾による手当や無線機の使い方を習った後、子どもたちは、地震の被災者役の豊橋市赤十字奉仕団員を手当て。「痛いけど大丈夫か？」と声をかけながら、習った通りに出来ると大満足の様子でした。保護者たちも「とてもいい体験をしました」と喜んでいました。

心からの寄付に感謝

小学生に教材プレゼント

徳島・京都

小学生の勉強に役立つ寄付が寄せられました。徳島県赤十字有功会(住友俊一会長)は3月30日、アフガニスタンの少年を描いた絵本など平和学習の教材を、青少年赤十字(JRC)に加盟する160の小学校に贈りました。



自治体の財政難による学校の図書購入費減少を受けたものです。同県のJRC指導者協議会の石田隆志会長は「赤十字への理解促進にも役立たい」と述べました。京都府支部の上京地区奉仕団(山下幸造委員長)は4月6日、入学式に合わせて同区内の新1年生約550人に色鉛筆セットと小冊子「せきじゅうじつて、なんだろう?」を贈りました。



児童に直接本を手渡した奉仕団員は「大きくなったら赤十字の応援団になつてね」と声を掛けていました。

毎年、協力に感謝
滋

宮崎市内でワイン店を経営する吉野酒店が4月2日、チリ産ワインの売上金から14万8500円を、チリ大地震の救援金として宮崎県支部に寄付しました。



店頭で支援を呼びかけ
設けられ、JRCのメンバーらが募金を呼びかけました。このチャリティーは、日本ハンドボールリーグ機構の社会貢献活動として実現したもので、6万3969円が日本赤十字社に寄せられました。

ハンドボール
大会でハイチ・東
チリ募金
3月20、21日の両日開催されたハンドボール日本一を決めるプレーオフ大会。会場となった東京・千駄ヶ谷の東京体育館にはハイチとチリの地震被災者への支援コーナーが



Voice & 懸賞クイズ

◆娘の勉強に一役―大村直樹さん(横浜市)
私の娘たちは将来、医療の仕事を目指しています。献血ルームで受け取る赤十字新聞は勉強の一助になっていきます。

◆思いやりのある人間を育て―森山肇さん(長崎県東彼杵郡)
近衛社長が対談で話した若者への懸念はその通りだと思います。人の痛みを知り、思いやりのある人間を育てることが大切です。

◆「Voice」と懸賞クイズの応募方法
クイズ問題①の解答のご意見や感想を添えて、はがき、FAXまたはメールでお送り下さい。今月号の応募締め切りは5月25日(火)必着です。お名前、連絡先(住所、電話番号)を明記して下さい。

◆看護師としてできること
は―村島範枝さん(津市)
日赤の国際活動に感謝しています。私も日本で看護師としてできることは何かと思

◆今月号のプレゼント
赤十字150年記念の「赤十字オリジナルラベルワイン」を6名様に差し上げます。(赤又は白1本)



4月号の懸賞クイズの答え
問題① 2020
問題② クレオール
当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

インタビュー INTERVIEW

パキスタン北部地震復興支援



日赤駐在員
大野 龍男さん



「赤十字は情報の裏取りが正確で早く、現場判断を尊重する。実際に危険を感じることはありませんでした」

継続的な支援が必要

一方で、学校などの建物再建は困難が続きました。パキスタン独特の商習慣から現地の建設業者との連携が難しく、工期が大幅に遅れる事態に。それでも校舎が完成すると、テントでの授業を余儀なくされていた生徒たちは一様に喜びました。

大野さんが活動を通して実感したのは、貧富の差の激しさです。

「辺境地の人は、病院が近くにないために多くの人が死ぬ現状を不満に感じません。なぜなら、病院の存在すら知らないからです」復興支援は、課題も多いと指摘します。

「地元の人が自立的に今後の災害に備えるまで支援をする必要がある。しかし、パキスタンはアフガニスタン国境の紛争などもあり、そこまで余裕がないのです」

ただ、その苦境でも、パキスタン赤新月社は各地で救援物資の備蓄を進めています。IFRCのパキスタン北部地震復興支援事業は今年で終わる予定ですが、今後も赤十字が被災地を支える役割を担うことは変わりません。

2005年10月のパキスタン北部地震は、死者約7万3000人を出す惨事でした。赤十字は発生から4年半が経った今も、復興支援を続けています。日本赤十字社の駐在員として支援に加わった大野龍男さんに成果や課題を聞きました。



生活再建の一環として農機具を配る。大野さんは村人からいつも歓迎されました

大野さんは08年11月から1年半の間、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)が北西辺境州やカシミール地域で進める事業を担当。生活再建や教育分野の支援に奮闘しました。

辺境地域は山岳地帯で、標高2000メートル以上の険しい場所に村が点在しています。こうした村々は地震で壊滅的被害を受けましたが、車で通えないアクセスの悪さや不安定な治安から支援が届いていませんでした。

る農業指導も各地で行いました。その結果、コメや小麦の収穫が伸び、大野さんは村人からひいたばかりの小麦粉をプレゼントされることもありました。

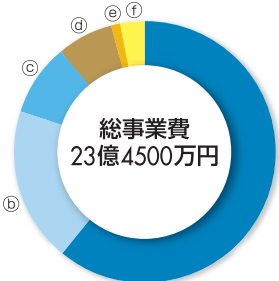
「この小麦粉で作ったナンを食べたときは、事業の成功を実感しました」

パキスタンは政治が不安定な国。車で遠出する際は、1時間おきに事務所に状況報告を義務づけられた日もありました。それでも、活動に専念できたとはいいます。



山奥の村でかんがい用水路の工事に励む村の男性たち

パキスタン北部地震の主な支援内容



- ㉑ 緊急救援(医療チーム派遣など) 14億2493万円(61%)
- ㉒ 保健医療(給水施設再建など) 4億4463万円(19%)
- ㉓ 教育分野(学校・職業訓練センター再建) 2億1000万円(9%)
- ㉔ 生活再建支援や住民の越冬対策 1億7455万円(7%)
- ㉕ 災害対応能力強化(防災倉庫建設など) 2944万円(1%)
- ㉖ 本社事業管理費 6189万円(3%)

貧しくても高潔な村人たち

大野さんは再建にあたり、地元スタッフと住民代表で進める協議を大切にしました。そこで優先された事業の一つが、かんがい用水路建設です。

建設現場では、積極的に作業する住民の姿がありました。「地域が潤うからと、あえて日当を受け取らない人もいました」

「核兵器の時代に終止符を」

ICRC ケレンベルガー総裁が声明発表



赤十字国際委員会(ICRC・本部ジュネーブ)のヤコブ・ケレンベルガー総裁は4月20日に本部で演説し、核兵器の使用について「国際人道法の原則との共存は難しい」との声明を発表しました。国際人道法の原則である「戦闘員と非戦闘員の区別」などに照らすと、無差別な殺りくをもたらし核兵器の使用は、国際法違反の疑いが強いとの見解を改めて示したものです。

演説は、駐ジュネーブ外交団を前に行われました。ICRCが各国政府に直接、核兵器の問題に議論を絞って見解を示したのは初めてです。

「街の中心は一面真っ白で、そこには何も残されていなかった」

ケレンベルガー総裁は、1945年の広島への原爆投下直後に、被爆者救済に奔走したICRC駐日首席代表マルセル・ジュノー博士の証言を引用しました。投下後5年間の死者数が直接の死者数の数倍に及んだことも示し、「今も残酷な兵器を装備し続けること自体、犠牲を生む可能性を高めている」と危機感を訴えました。

そして、総裁は今年4月に米ロ両国が新核軍縮条約(新START)に署名し、核兵器削減における双方の責任を再確認したことや、核不拡散条約(NPT)再検討会議が5月に開催されることに触れ、「核兵器廃絶へと導くまとまぬ機会が到来している」と訴えました。

ICRCは国際人道法のジュネーブ諸条約を基に戦争犠牲者を支援しています。核兵器についても国際条約の枠組みで廃絶を進める必要性を訴えています。この姿勢は、1996年に国際司法裁判所(ICJ、本部オランダ・ハーグ)が示した勧告的意見に沿うものです。

今回の声明には大きな意味があります。各国政府による議論が、安全保障や核抑止力に偏りがちな中で、核兵器が人類にもたらす甚大な被害や、将来に想像もつかない深刻な影響を与える危険性に警鐘を鳴らしているからです。日本赤十字社はこの声明を受け、被爆国の赤十字社として世界の赤十字と連携して核兵器問題に対応していく方針です。

国際司法裁判所の勧告的意見とは？

ICJは国連の司法機関で、国際法に関する意見を示す役割があります。1996年7月には、核兵器の使用や核威嚇の是非について意見を出しています。

この意見では、核兵器使用について「一般的には国際法違反」と指摘。その一方で「国家の存亡にかかわる極限的な自衛に迫られている状況」では、「合法・非合法の結論を出すことはできない」としました。公判に臨んだ裁判官14人のうち、3人がいかなる場合も「絶対違法」との少数意見を出しています。

Our world. Your move.

赤十字150年



長編アニメ『ジュノー』完成

「ヒロシマの恩人」の生涯を描く



15トンの医薬品と医療器材とともに被爆直後の広島を訪れ、被爆者救済に奔走したICRC駐日首席代表マルセル・ジュノー博士。『ヒロシマの恩人』と呼ばれたジュノー博士の生涯を描いたアニメーション作品『ジュノー』がこのほど完成しました。

学校や公共施設などでの上映が順次予定されています。

制作したのは、世界の被災者や難民への医療支援活動を行っているNPO法人「モースト」(津谷静子理事長)が中心とな

った制作委員会。日本赤十字社とICRCも制作に協力しました。

アニメは、女子中学生の美依と優子の2人がタイムスリップし、スペイン内戦や第二次世界大戦下での捕虜・被災者救護、そして広島での被爆者救済に心血を注いだジュノー博士の活動に触れるストーリーです。人道活動を支えた人間の愛の力を知り、2人は成長していきます。

上映に関する問い合わせは、制作委員会(TEL 082-223-0790、http://www.junod.jp/)まで。